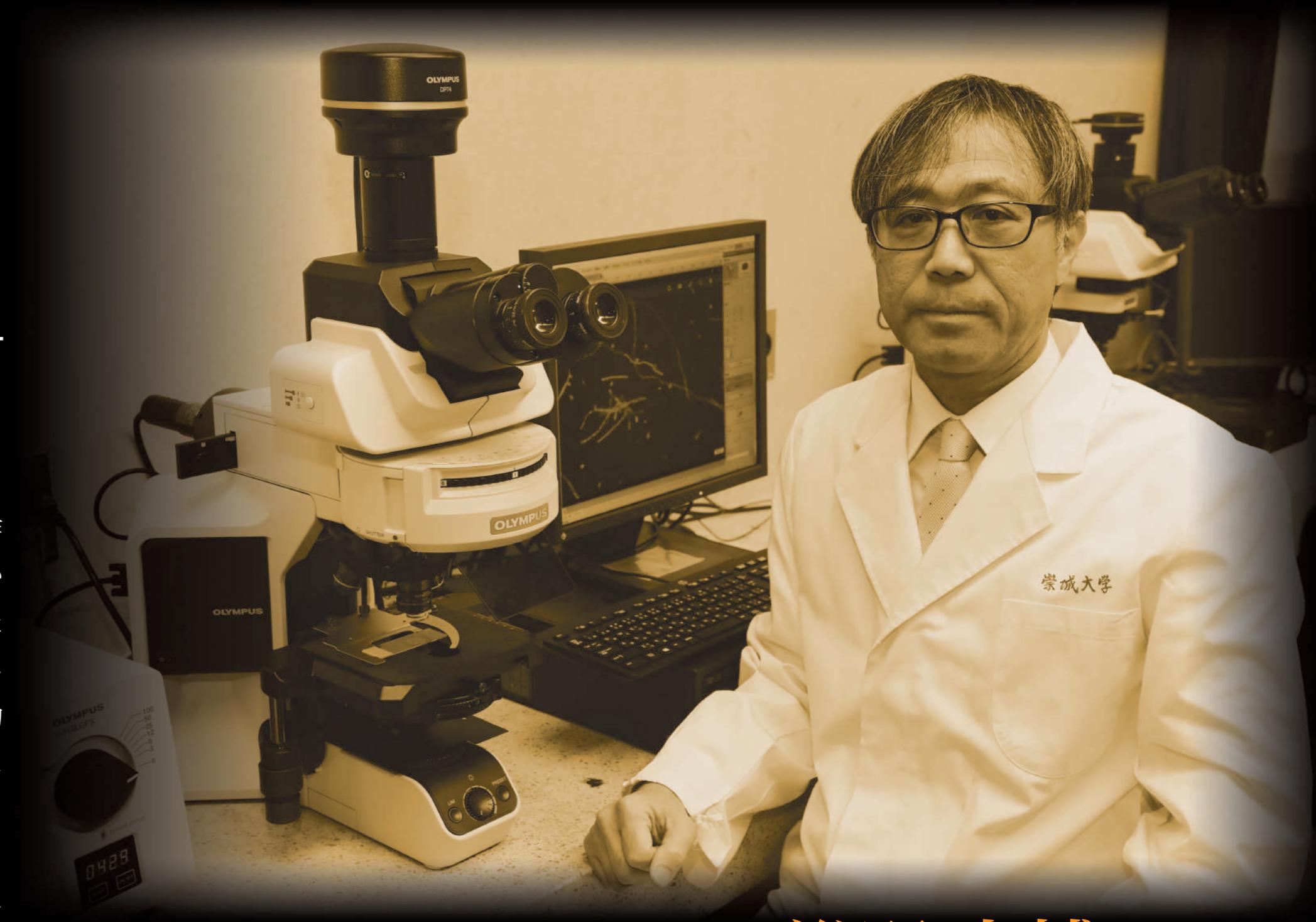


微生物の可能性は無限大!!

BT菌の力で農業や医療に貢献

私は、微生物を使って、植物病原菌の生育をコントロールする研究を進めています。自然界に広く分布している微生物「バチルス・チューリンジェンシス(通称: BT菌)」は、顕微鏡で観察できるほどの大きなタンパク質のかたまりをつくります。一部のBT菌は、この中に昆虫を殺す毒素をつくるものがいます。BT菌は農作物に害を及ぼす昆虫に対する安全性の高い“微生物農薬”として実用化されています。微生物の力をを利用して、安全安心な“農薬”ができるということです。またBT菌は、さまざまな生理活性タンパク質もつくっていることがわかつてきました。例えば、ヒトの培養ガン細胞に損傷作用を示すもの(パラスピリン)や抗生物質として作用するものなどです。パラスピリンは、ある培養ガン細胞には強力に損傷活性を示すが、ある細胞には全く作用しないなど、選択性を示すことが明らかになっています。このように医療分野での活用も期待され始めたBT菌。まだ微生物の可能性は無限大です。これからも研究を通して、農業や医療に貢献していきます。



生物生命学部 応用微生物工学科 沿野 圭輔 教授



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部	情報学部	芸術学部
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 | 検索